



令和5年度

# 1月の園だより



みみょう保育園

## 1月行事予定

1	月	元旦
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	御用始め・頭髪検査
6	土	
7	日	
8	月	成人の日(休園)
9	火	
10	水	戸川先生とあそぼう
11	木	
12	金	避難訓練
13	土	
14	日	
15	月	身体計測
16	火	
17	水	戸川先生とあそぼう みみょう文庫
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	MIMYOっこサロン
24	水	戸川先生とあそぼう
25	木	
26	金	誕生日会
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	戸川先生とあそぼう

## 2月の行事予定

- 2日(金) 豆まき
- 14日(水) みみょう文庫
- 16日(金) 避難訓練・誕生日会  
2歳進級説明会
- 20日(火) MIMYOっこサロン

### たくさんの人との関わりの中で…

新年あけましておめでとうございます。  
年初より能登半島を中心に大きな災害が起きました。まだまだ予断を許されない状況が続いています。一日も早い安定化と被災地の回復を念じています。

長いお休みが終わり、子どもたちの元気な声が園内に響き渡っています。今年も子どもたちと過ごす一日一日を大切に、保護者の皆様と一緒に対話を重ねながら、子どもたちの育ちを喜び合っていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、みみょうでは、今年度“自己肯定感を土台に自ら考え判断できる子に”をテーマに保育を進めています。近年、急激な人口の減少や深刻な少子化、また人工知能(AI)の進展やチャットGPTの登場など、社会の情勢が大きく変わる中で、教育のあり方においても、個々の興味、関心に応じた協働的な学びを重視した教育へと変わろうとしています。その中で、これからの時代を生きていく子どもたちに求められる力は、いったいどんな力なのでしょう。目の前に起きた課題を自分で判断し乗り越える力だったり、他者とコミュニケーションを図りながら作り上げていく力など知識の習得ではなく、思考力や協働性も身につけることが大切であるとも言われています。また、近年様ざまな文献において、0歳から2歳までの乳児期の育ちの重要性もクローズアップされています。先日、参加した講演会においても、新宿区のせいのがのもり理事長藤森平治氏が、一つのエビデンスを通して、赤ちゃんは、誕生時からすでに最も高い感受性をもっている。だからこそ、赤ちゃんの時からたくさんの人と関わることの体験が大切であると言われていました。多様な人との関わり合いがあればあるほど、喜怒哀楽などの感情も豊かになり、相手の思いを感じたり、自己の感情をコントロールしたり、人と関わる上での土台となっていきそうです。まさにこのお話から、みみょう保育園の子どもたちの姿が目に見えてきました。先日、まだおぼつかない足取りのこあら組(0歳児クラス)のHちゃんが、砂山を立てて登りたくて試行錯誤していると、その姿に気づいたきりん組(2歳児クラス)のKちゃんが、優しく手を取り、Hちゃんの足取

りに合わせて、お山の頂上まで連れて行ってあげていたり…。また、別の日には、きりん組さんが消防士になりきって走る姿に、見よう見まねで後ろを追いかけ何往復もついて走るこじか組(1歳児クラス)さん。お兄ちゃんお姉ちゃんのやっていることに好奇心旺盛で、一緒になって走る表情には「楽しい」はもちろんですが、仲間入りした得意げな姿も見せてくれていました。また、こうした子ども同士だけでなく様々な人との出会いもたくさんあります。園舎前をゴミ収集車が通ると、手を振る子どもたちの姿に清掃員の方が手を振り返して下さったり…。11月に行った、津波を想定した地域防災訓練では、地域の方がたくさん助けに来て下さり、温かなまなざしの中、安心して避難することができたり…。みみょう保育園は、地域の中にあるからこそ多様な人との関わりの中で、子どもたちは喜怒哀楽はもちろんですが、相手に対する優しさや思いやり、感謝する気持ちなどたくさん感情を感じ、表現しながら過ごしています。この姿こそが、今重要視されている、乳児期に大切にしていきたい姿であるのだと実感しています。そして、みみょうが常に大切にしている、子どもは群れの中で育つということなのです。これからもこの出会いの中で育まれる心の育ちを大切に過ごしていきたいと思っています。

先月開催したみみょうっこサロンでは、保護者の方から、毎日子育ての中での、悩みや疑問がたくさん出たと職員から教えてもらいました。子育てにおいても人との関わりはなくてはならないものです。楽しいことの共有だけでなく、上手いかなくて悩むことも、みんなで対話を重ねながら、保護者同士はもちろんですが、園も子どもたちの育ちを支えるパートナーとして保護者の方と繋がっていきたくと思っています。今月は、保護者の方からのご要望にもあった、子どもたちの動画を用意しています。子どもたちの姿を見ながらたくさんお話ししましょうね。

そして、みみょう保育園は、地域や保護者、子どもとたくさんの人と人がつながり、輪を広げて、子どもの育ちを見守っていける園でもありたいと思っています。何かありましたらいつでもお声がけください。一緒に考えていきましょう。

園長

### 十二支の由来(令和6年は辰年)

ある時、神様が動物たちを集めて「お正月の朝早く来たものからその者をその年の干支にする」と言いました。猫はうっかりしていたのでネズミに尋ねました。ネズミはわざと約束の次の日を教えました。ネズミが牛のところに行くと言った牛は、「歩くのがゆっくりだから、早く出かけるよ」と言うのでネズミはすかさず牛の背中に乗りました。

朝になり、神様の門の前まで来るとネズミは牛の背中から飛び降りて、「私が一番!」と名乗りました。そして、牛が2番です。次々にトラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシと干支をつけてもらいました。

次の日に行った猫は、誰もいないのであわてて門番に尋ねると「顔を洗って出直して来い」といわれました。猫が良く顔を洗うしぐさをするようになり、ネズミを追いかけるのはこのときからだそうです。

### 成人の日 1月9日

大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い、励ます日で、昭和23年に制定され、平成12年(2000年)から1月の第二月曜日に定められました。民法では、“満二十歳ヲ以テ成人トス”とあり、法律上独立の社会人としての地位を与えられます。

わが国では古くから成人を祝うしきたりがあり、男性は元服、女性は裳着といいました。

まだまだ成人には年月がかかる子どもたちですが、夢と希望を持って成人できるよう、私たち大人が毎日明るく、前向きな姿を見せていきたいものです。

### 消さないであなたの心の注意の火

広島市南消防署  
警防課 救助係

